

警察官採用試験問題 その②



2020.3.9

本校の改革担当部長と打ち合わせ。

その時、この「警察官採用試験」を話題に出した。その話をした後、私はこう言った。

「私が神奈川県警の広報担当者だったら、すぐ取材に来る。その子を広報紙の表紙の顔に使う」

そうなれば、子どもにとって喜びだが、おまわりさんにとっても喜びだろう。

小学生の時からおまわりさんになりたくて採用試験の勉強をしている。それほど、おまわりさん・警察官にあこがれている。それはおまわりさんの自尊心・誇りにまっすぐ届く。

そしたら、その部長はこう言った。「県警に知り合いがいる。電話してみる」

自分の気持ちに共感してくれる人がある・・・これは私を元気づける。

「警察官採用試験」の子どもは、私に「先生、《私のポケット》楽しいよ」と言っている。

この子も私を元気づけている。だが、その子は「自分がマツナガ先生を元気づけている」なんて夢にも思っていない。

11歳の子どもが、大の大人を元気づける。

人生って不思議なものである、人っておもしろいものである。

私も誰かを元気づける人でありたい。

